

令和7年度(第15期)事業計画

(令和6年10月1日～令和7年9月30日)



【はじめに】

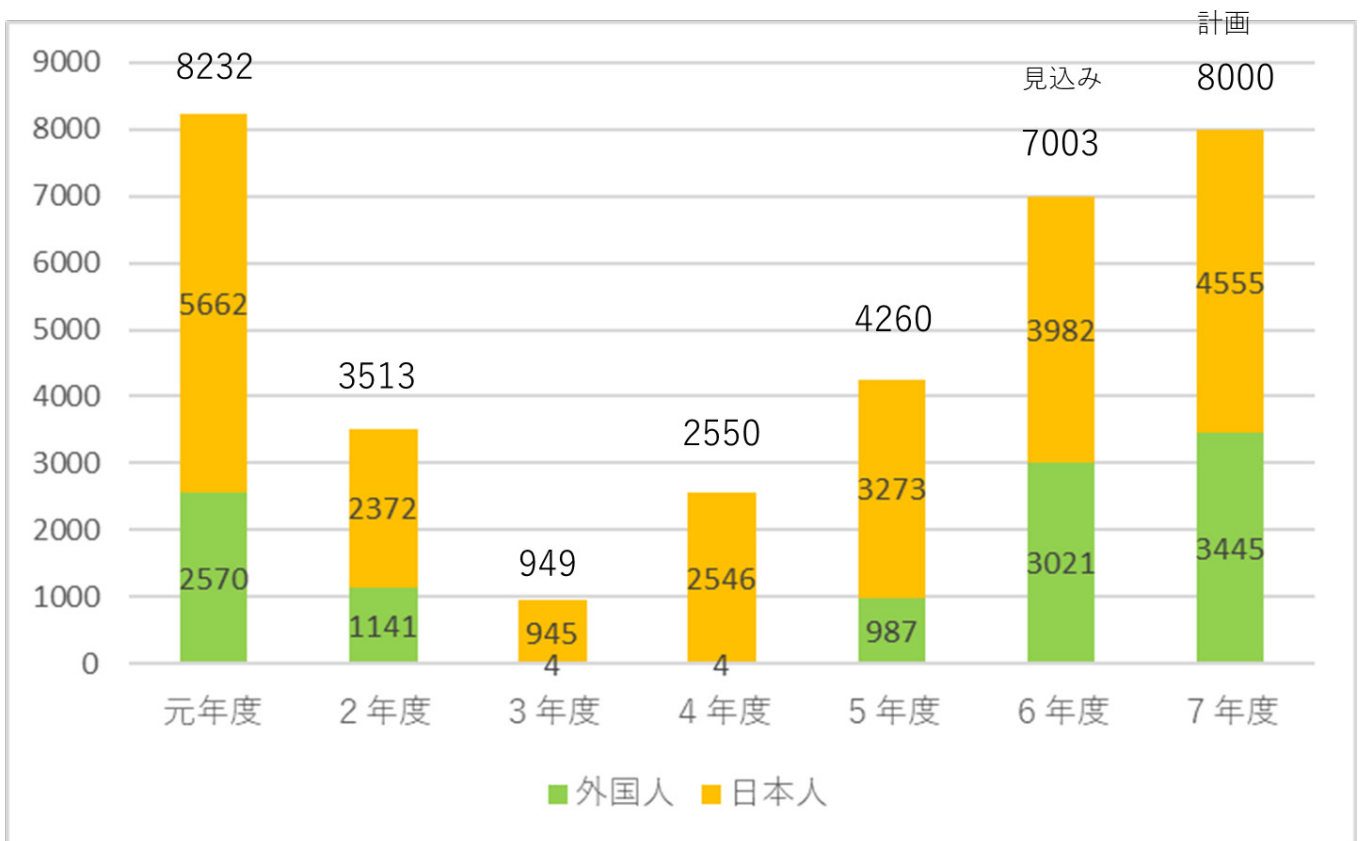
公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22年9月22日に京都府より財団法人から公益財団法人への移行の認定書を受領し、次年度（令和7年度）は第15期を迎えます。平成6年に松下幸之助生誕100年を記念して開設された「松下資料館」の管理と運営を当財団の活動の主体としております。

【松下資料館 来館者の推移】

令和2年3月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、松下資料館の来館者数は減少していましたが、反転傾向にあり、令和6年度の来館者数見通しは7,003人の予定です（前年比164% 国内122%、海外306%）。

令和7年度は、入国制限緩和や万博開催による海外来館者増加、松下幸之助生誕130年・松下資料館開設30周年企画の継続による集客など、今年度以上の来館者増が見込まれ、8千人を計画します（前年比114% 国内、海外とも114%）。

人 来館者推移



【令和6年度の活動】

令和6年度は、来館者の対応とともに、次のような活動を実施してまいりました。

①来館者サービスの向上

- 教養講座 2回実施（2月、8月）
 - ・「期待される人間像」と松下幸之助／川上恒雄氏 PHP 理念経営研究センター
 - ・京都の「いけず」と日本文化／井上章一氏 国際日本文化研究センター
- 「新入社員 合同学びの会」4月実施
- 映像ブース用映像「道をひらく」5編制作 9月公開
- ホームページのスマートフォン対応（3か国対応） 9月実施
- 庭園シアター ワイヤレスマイクシステム導入 11月実施
- 庭園シアター「感謝の心」中国語吹替え版 制作 5月公開
- 来館者用 車椅子 設置 6月実施

②松下資料館 開設30周年記念事業

- 展示室用映像「松下むめの 難儀もまた楽し」（4か国語対応）4月公開
- 記念出版 THE 21 特集号・エピソード集 5月に関係者へ贈呈
- 創業記念感謝の会 9月開催

【令和7年度（第15期）事業計画】

平成6年（1994年）に松下資料館が開設されて、令和6年5月に開設30周年（令和6年5月～令和7年5月）を迎えました。令和7年度は、従来の事業活動を着実に実行しつつ、開設30周年記念の事業も加えて実施してまいります。

< I 経営研究事業 >

多目的な“研究の場”として松下哲学の勉強会や、日本の経営を中心とした研究会、さらには教養講座や講演会などを随時行なっています。



◎教養講座

教養講座とは、豊かで幸せな社会を創るために役立つ考え方・知識・情報等を教養として学ぶ少人数制の公開講座です。

< 教養講座の企画コンセプト >

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

●（第9回）令和7年2月予定

講演テーマ：「松下幸之助と松下政経塾」（仮題）

金子将史氏

（株）PHP研究所 常務執行役員（政策シンクタンク PHP 総研代表）

●（第10回）令和7年8月予定

講演テーマ：『植治』次期十二代 ～ 次代へと繋げる仕事』

小川勝章（おがわ かつあき）氏

御庭植治（おんにわうえじ）株式会社 代表取締役

◎出張講演会・オンライン講話の提案

諸事情により来館できないお客様に、出張講演会およびオンライン講話の提案を行ってまいります。

(ニーズ例)

- ・遠方のためなかなか行けない
- ・社内や関連団体のメンバーを一同に集めて来館するのが難しい
- ・大人数のお客様を連れて行きたいが受け入れ可能な人数を超えてしまう
- ・企業・団体のイベント等の一環として
- ・仕入先・業者さん・業界団体等の勉強会・研修会として
- ・社員教育や組合研修の一つの講座として

◎研究会の企画

今日、MBA等の経営学を学ぶ方々が大変増えています。そうした学問としての経営学だけで経営をしてもうまくいくとは限りません。そこに経営哲学や実践に裏付けされた経営に対する考え方がないと生きた経営はできません。

今日の経営状況を踏まえて「生きた経営とはどうあるべきか」といった研究会の企画・検討を進めてまいります。

- ・具体的テーマの検討
- ・研究者・協力先の選定
- ・研究会の進め方の検討
- ・研究成果の検討

●具体的な企画

- ・松下幸之助記念志財団 留学生 勉強会

< II 展示事業 >

展示コーナーでは、グラフィックパネルを用いて、松下幸之助の“行き方・考え方”を紹介しております。さらに映像ブースでは、松下幸之助とその教えを受けた人々の映像を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で視聴することができます。



◎新しい映像の制作・公開

「松下幸之助の心（仮題）」の制作。

- ・令和7年7月公開予定 ※日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語対応
- ・展示場所：庭園シアター

◎第12回「新入社員 合同学びの会」の実施

中小企業の新社会人に向けて、松下幸之助の仕事観・人生観を学んでいただく会です。

- ・令和7年4月に実施予定（定員30名）

◎映像ブースの映像を追加

現在、映像ブースで90点の映像を視聴することができます。

松下幸之助、部下の映像、それぞれ1点を新たに製作し、追加してまいります。

◎展示コーナーの課題ソリューション

●音声ガイドの導入

展示コーナーのパネル展示内容の外国語対応は部分的であり、増加する外国人来館者は見学ガイドと照らし合わせて見ないと全容がわからない状況。そこで、スマホ対応の音声ガイド（英・中・韓 及び 日本語 4か国語対応）システムを導入する。

●映像ブースの音響対策

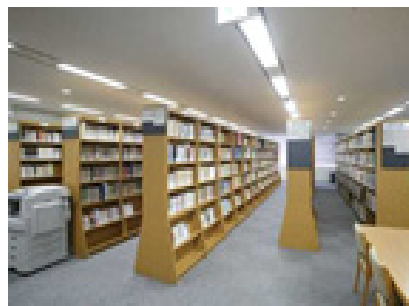
映像ブースでの再生音は隣接する映像ブースや展示コーナーに音漏れしており、課題となっている。そこで、指向性スピーカーを設置する。

●映像ブースのファイル容量

現在の映像ブースのデータファイル方式では、これ以上の映像作品増加へ対応するファイル増加への容量が不十分であり、また、作品増加の度に、複雑なメニュー更新作業が必要となっている。そこで、操作メニューの設定、変更の柔軟さ、ファイル保存容量の増加対応のためのタッチパネルの変更を行う。

<Ⅲ 経営図書館事業>

経営図書館では、現代経営に役立つ図書館を目標に、その関連資料を収集しております。松下幸之助がこれまでどのようなことを述べてきたかを知りたいとき、日本の経営の源流を知りたいとき、あるいは経営者の経営理念をじっくり研究したいときなど、経営、ビジネスの面から幅広く活用することができます。



◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書といった全国的にも特徴のある図書館として、さらに充実化を図ってまいります。

- ・新規発刊された経営者執筆本・経営経済関係図書の購入
- ・ホームページでの継続的な寄贈の呼びかけ
- ・社史編纂請負会社への寄贈依頼
- ・来館された企業幹部への声かけ

○ 令和6年7月末現在 蔵書数

| | |
|------------|------------------|
| 全蔵書数 | 21,954冊 |
| (内) 経営者執筆本 | 2,686冊 |
| 会社社史 | 3,686冊 (2,323団体) |

●電磁ゲート（無断持出検知システム）の設備更新

現在の電磁ゲートの老朽化のため最新型を設置

<IV その他活動>

◎松下資料館開設30周年

松下資料館より多くの方々に知ってもらうために広告を打つ。松下幸之助の著作の増刷時、「松下資料館」紹介しおりを投げ込む（12万部）。2024年11月より、在庫が無くなるまで。

令和7年度の金融情勢は、令和6年8月の激変もあり、為替、株価ともに不安定な状況と見ております。よって、利金収入は、下降局面も踏まえて推定し、その他収入の確保（講話収入等）と効率化によるコスト削減にさらに注力して経営の良化に努めてまいります。